

< 2020.2.1 日刊建 >

宇都宮市管工事業協組



鎌倉市議会議員



佐藤市長



船田衆議院議員



和田理事長

新春賀詞交歓会に150人

和田理事長「社会貢献へ体制整備」

宇都宮市管工事業協組（和田均理事長）は、1月27日、同市内のホテルで2020年新春賀詞



増淵宇建協会長の発声で乾杯

交歓会を開催。組合員や協力業者、来賓など約150人が新年の開幕を祝い、市民生活を支える上下水道事業に携わる地域貢献の使命を確認した。

冒頭で和田理事長は、先行き不透明な国際情勢の動向や迅速な災害対応、水道法改正に伴う指定給水装置工事業者制度への更新制導入など、諸問題に言及。続けて「昨年は組合主催の総合防災訓練を実施したが、次代を担う青年部が存分に力を発揮し、大変心強く感じた。地方においては景気回復が実感できない現状だが、本年も積極的な資材販売や社会貢献活動に取り組めるよう、刻々と変化する環境に対応できる体制整備を図つてまいりたい」とあいさつし、組合員の理解と協力を願った。

来賓からは、船田元衆議院議員が「今後は台風19号の甚大な被害を教訓とした、改良復旧による防災対策が必要となる」、宇都宮市の佐藤栄一市長は「上下水道の老朽管更新には、貴組合の豊富な経験と知恵が不可欠」、同組合の顧問を務める鎌倉三郎市議会議員も「技術者不足の解消に努め、水需要への対応をサポートしてほしい」と祝辞を述べ、組合のさらなる発展に向けた支援と連携強化を約束した。

宇都宮市の塚田浩上下水道事業管理者、渡辺道仁市議会議員（組合顧問）、県建築士事務所協会の佐々木宏幸会長ら、出席した来賓が紹介された後、宇都宮建設業協会の増淵会長が乾杯の発声。出席者は和やかな雰囲気の中で新年の抱負を語り、今年一年の無事故・無災害を誓い合った。